

沖縄の強みを活かしたSDGs

金沢工業大学 SDGs推進センター長
平本 督太郎



Japan.
Committed
to SDGs

金沢工業大学 SDGs推進センター長／経営情報学科准教授

一般社団法人BoPグローバルネットワーク・ジャパン代表理事。メディアデザイン博士（慶応義塾大学）※。World Bank Institute Executive Development Program「Inclusive and Sustainable Business: Creating Markets with the Poor」修了。修士まではSFCにて環境デザイン（アーバンデザイン・ランドスケープデザイン）を専攻。

2016年末まで野村総合研究所(NRI)にて経営コンサルタントとして活躍。日本政府・国連機関等と共に、MDGs／気候変動対策に貢献する社会課題解決型ビジネスの推進に関する政策立案を行うとともに、民間企業に向けた事業創造支援を行い、その実績により社長賞を受賞。これまで大企業・中堅／中小企業・ベンチャー企業数百社の社会課題解決型ビジネスの創造・拡大、次世代経営者育成を支援。

PPP（Public Private Partnership）の観点から政令市の総合計画策定・実施・組織改革や公的組織の民営化を支援。 NRI在籍時から教育・人材育成に対する思いは強く、宮城大学事業構想学部非常勤講師、明治大学経営学部特別招聘教授等を兼任し、ゲスト講義多数。研究よりも教育を重視する大学を探し、金沢工業大学に出会う。

金沢工業大学着任後、現場統括として第1回ジャパンSDGsアワード（官房長官賞）受賞、顧問として会宝産業の第2回ジャパンSDGsアワード（外務大臣賞）受賞に大きく貢献する。

経済産業省「BoPビジネス支援センター運営協議会」委員、経済産業省のSDGsビジネス関連の補助金選定委員、ジェトロ「SDGs研究会」委員、白山市「SDGs推進本部アドバイザリーボード」座長等、日本政府機関・自治体の委員を歴任。

サステナビリティ経営の世界的権威スチュアート・ハート教授が設立したSDGsビジネスに関する世界的有識者ネットワークBoP Global Networkの日本代表。「BoPビジネス3.0」等、米国・日本双方にて著作多数。NHK「Biz+」、フジテレビ「報道2001」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、別所哲也「J-WAVE TOKYO MORNING RADIO」等、TV・ラジオ出演多数。

共著書に、『BoPビジネス戦略』（東洋経済新報社、2010年）、『アフリカ進出戦略ハンドブック』（東洋経済新報社、2016年）、『BoPビジネス3.0』（英治出版、2016年）、『中堅・中小企業のためのSDGsビジネス』（執筆中）がある。

※メディアデザイン=Policy、Design、Management、Technologyの融合領域



Japan.
Committed
to SDGs

教育

金沢工業大学
第1回ジャパンSDGsアワード受賞
(官房長官賞)

小・中・高への横展開



地域経営

白山市
SDGs未来都市選定

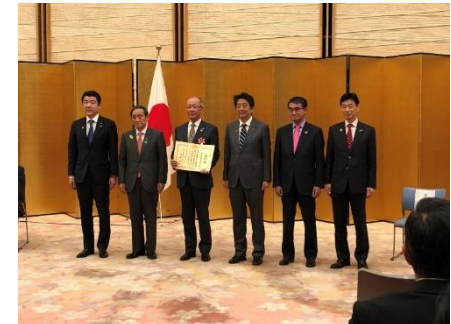
地域の一構成員・アクター
としても貢献



ビジネス

会宝産業
第2回ジャパンSDGsアワード受賞
(外務大臣賞)

中堅・中小企業のためのビ
ジネススクール (Start
SDGs) 作りにも貢献



SDGsにおいて重要な三つの言葉

地球規模

バックキャスト

SDGsにおける
3つのキーワード

地域の取り組みを世界共通の取り組みへ、海外の取り組みを地域の取り組みへ

現状の延長上を考えるのではなく、皆が妥協をしない未来を描き、そのあと今行うことを考える

誰一人置き去りにしない（取り残さない）

一つ上の視点からトレードオフに注目しイノベーションを起こす

3つのキーワードと自治体における課題

地球規模

全ての施策における「地球一個分の生活」の実現と、成功例の横展開

バックキャスト

- ・地域の「今」についての対話だけではなく、2030年の理想の社会に関する対話が必要
- ・自治体主導の地域づくりから脱却し、市民による「自分たちの地域は自分たちで創る」を支援する

誰一人取り残さない

- ・行政区分／組織を跨いだ施策間でのトレードオフをなくす
- ・行政区分／組織を跨いだ施策間での相乗効果を生み出す

多様なジャパンSDGsアワード受賞組織の知見から抽出した、誰一人取り残さないSDGsイノベーターが備えるべき3種類の力

第1回ジャパンSDGsサミットより抽出されたメッセージ

SDGsの達成には、一人ひとりが立ち上がるのが重要



市民・生活者・消費者、経営者・従業員、社会人・若者一人一人が自分達の持続可能な未来の形成を目指して立ち上がるためには、どのような教育・人材育成による能力向上が必要なのか

第2回ジャパンSDGsサミットより抽出されたメッセージ

- ①目標設定：「包摂／多様性社会における対話力・主体的な問題設定力」
- ②行動：「怖さを乗り越える力・理想を追求し創りきる力」
- ③評価：「世界と自分をつなげる自己肯定力・美点凝視による褒める力」

SDGs イノベーション教育のためのツール

THE SDGs アクションカードゲーム X(クロス)

無料版：<https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/application.html>
製品版：<http://rebirthproject-store.jp/?pid=88340632>



SDGs 未来都市の白山市の オリジナルカード



文部科学省 SDGs 達成の担い手育成 (ESD) 推進事業

「ゲーミフィケーションを用いたSDGs教材とその開発手法の全国展開」

- ジェンダー・不平等に関するクイズ形式のゲーム
- 里山里海の食材・食品ロスに関するゲーム
- 普段と災害時の体育館の使用方法を考えるゲーム
- 2045年までに起こる確実性の高い出来事を体験するゲーム
- 持続可能な社会を実現させるための投資 (ESG) ゲーム

人を集め、人を育むための世界の中における 沖縄の強みを活かしたSDGsの推進

分散型インフラ
ポータブル技術
遠隔技術

離島

アジアネットワーク
ワーケーション

観光

平和
(広義)

被災経験の少ない地域
との連携
他の平和拠点との連携